

海外邦人安全対策連絡協議会  
安全等に関する参考情報  
(2026年3月)

1. 中東情勢を踏まえた注意喚起

目下の中東情勢を踏まえ、以下についてご注意ください。

- (1) 現在、中東またはその周辺地域を発着するフライトに欠航や空港一時閉鎖などの状況が生じています。今月のレバラン休暇を利用して海外旅行等を予定されている方も多いと思いますが、トランジットでの立ち寄りも含め、中東方面へ移動の予定がある方は、自身を利用するフライトや空港の状況を確認し、必要に応じて変更等を検討してください。

○ 参考：外務省 広域情報：イランへの攻撃に伴う注意喚起

[https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo\\_2026C017.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo_2026C017.html)

- (2) また、海外へ渡航予定がある方は、渡航予定を「たびレジ」に登録することで、現地の在外公館からの安全情報等を受け取ることができます。予定が決まったら速やかに、たびレジへの登録をお願いします。

○ 外務省：たびレジ(海外安全情報 無料配信サービス)

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

- (3) 外務省では、中東地域の危険レベルの引き上げを行っています。危険レベル2となっている地域へは、不要不急の渡航はやめてください。レベル3や4以上の地域へは、どのような理由であっても、渡航を中止してください。

○ 外務省海外安全情報：<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

【参考】危険レベル

レベル1 十分注意してください。

レベル2 不要不急の渡航は止めてください。

レベル3 渡航は止めてください。(渡航中止勧告)

レベル4 退避してください。渡航は止めてください。(退避勧告)

- (4) 当地においても、中東情勢の緊張を背景とするデモや集会が、在インドネシア・アメリカ大使館(Jl. Merdeka Selatan、中央ジャカルタ市)前やイラン大使館前で行われていることを確認しています。

報道等により最新の情勢を把握するよう努めるとともに、不測の事態に巻き込まれることのないようご注意ください。関連するデモ・集会などが行われている現場には近づかないよう、また、万一そのような現場に遭遇した場合には、速やかにその場を離れる等、安全の確保を優先するよう心がけてください。

## 2. インドネシア国内の悪天候（継続）

インドネシア国内では、引き続き大雨による洪水・鉄砲水被害や土砂崩れ等が発生しています。インドネシア気象庁は先週、レバラン期間も含む今後数週間、特に西ジャワ州・中部ジャワ州で極端気象となる恐れについて注意喚起を行っています。また、インドネシア南部の海上で3個のサイクロンの種が発生するなど、暦の上では雨季も終わりに近づいていますが、気象災害にはまだまだ警戒が必要です。

普段から天気予報や悪天候に関する報道等に注意を払い、特に激しい風雨が予想される際には、不要不急の外出を避ける、老朽化した立木や建物、インフラから離れるなど、引き続き十分注意してください。

また、出張や旅行にて地方を訪れる際には、職場や家族に旅程を共有するなど、速やかに連絡が取れる体制を整えてください。

以下のインドネシア気象庁等のサイト情報も参考にしてください（インドネシア語）

○インドネシア気象・気候・地球物理庁（BMKG）公式サイト

<https://www.bmkg.go.id/>

## 3. 警察改革を求めるデモ活動等について

2月24日（火）ジョグジャカルタ市中心部で、学生デモ隊が警察と衝突し、警察本部のフェンスや設備等が破壊されるに至りました。報道によれば、この事件で学生3名が逮捕されましたが、すぐに釈放されています。

デモの動機は、2月19日（木）にマルク州 Tual で発生した、警察 Brimob 隊員が14歳の少年を暴行死させた事件に対する抗議であり、この事件に関連し、ジャカルタでも、2月27日（金）に、国家警察本部前で警察改革を求めるデモが行われました。昨年秋の過激化したデモが鎮静化してから半年が経ちましたが、これらのデモは、予期せぬ契機によって再び過激化する可能性も依然として残っているため、デモに関する最新情報の入手に努めるとともに、デモが行われている場所やその周辺には近付かず、人だかりやデモ活動に遭遇した際には速やかにその場を離れるなど、安全確保に努めてください。

## 4. ラマダン・レバラン時期の注意喚起（継続）

本年は3月20日（金）頃までイスラム教の断食月（ラマダン）であり、その後3月24日（火）までイスラム教の断食明け大祭（レバラン）及び休日が続きます。

ラマダンも後半となりましたが、引き続き、期間中は、通常以上の配慮などを意識してください。

例年、期間中はスリや置き引きなど金品目当ての窃盗犯罪等の一般犯罪も増加する傾向にあります。防犯・安全対策を怠らないように注意してください。

また、ドライバーの居眠りによる事故も多発しています。先月は、トランスジャカルタのバス同士の、ドライバーの居眠りによると思われる事故が発生し、多数の負傷者が出ています。公共交通機関を利用する際も、可能な限り手すりにつかまるなど、事故リスクに備えて

ください。また、交通マナーの悪化や、断食明け前後の若者による騒ぎやテロ等への警戒も怠らないようにしてください。

#### 5. 特殊詐欺グループの摘発事案

3月3日、西ジャワ州ボゴール県において、邦人13名が現地当局に拘束される事件が発生しました。

事件の詳細については、現在、現地当局が調査中ですが、日本国内へ向けての特殊詐欺に  
関与していたとされる報道もあります。

- (1) 闇バイトに応募し、犯罪組織等に「かけ子」や「受け子」として海外で特殊詐欺に加担させられ、その結果、現地当局に拘束又は保護される事案が、特に東南アジアで多発しています。最近は未成年者が海外で特殊詐欺に加担させられるケースも発生しており、犯罪組織内部で暴行を受けるケースもあります。
- (2) 海外であっても、日本国内への犯罪行為に対する罰は免れません。
- (3) 成人、未成年にかかわらず、この種の求人に安易に応募しないよう、また、意図せず犯罪の加害者になることがないように、十分慎重に行動してください。
- (4) 犯罪組織は、SNSやオンラインゲーム等を通じて甘い誘い文句で「捨て駒」となる実行役を募っています。「闇バイトの応募者は使い捨て要員」です。現地当局に拘束されても、犯罪組織は助けてくれません。
- (5) 万が一関わってしまったと感じた場合、一人で悩み、抱え込むことなく、家族等の近い人や警察等に助けを求めてください。また、現地の日本大使館・総領事館に遠慮無くご相談ください。

#### 6. 感染症情報

保健省の感染症発生レポート（2026年第7週、2月21日まで）によると、デング熱  
疑い患者発生数は、今年に入り著名な増加はない状況。2026年累積報告数報告の多い州  
は多い順に、西ジャワ州、東ジャワ州、中央ジャワ州、バンテン州、ジャカルタ。

麻疹疑い患者数に関しては、前週よりもやや減少はしているものの、年初より報告数が多い  
状況は継続中。2026年累積報告数の多い州は順に、東ジャワ州、バンテン州、ジャカ  
ルタ、南スラウェシ、中央ジャワ州。

他、レプトスピラ症疑いの報告数が年初より急増。2026年累積報告数報告の多い州は  
順に、中央ジャワ州、ジョグジャカルタ、西ジャワ州、東ジャワ州、バンテン州。ジャカルタ  
でも報告あり。レプトスピラ菌に感染したネズミの尿に汚染された水との接触により感染す  
るので、たまり水等に触れることがないように注意してください。

保健省レポートリンク：<https://surveilans.kemkes.go.id/berita/laporan-mingguan-situasi-terkini-penyakit-infem-dan-potensial-klb-wabah-m8-2026> (以上)